

宗谷の子どもたちにより良い教育を!

教育全国署名にご協力ください。

各市町村では子育て支援の施策が様々行われています。稚内市では、この夏から医療費の無償化が中学生まで拡大されました。

このような教育・子育ての充実の前進だけでなく、「高校授業料無償化」の復活や教材費・給食費など学校教育にかかる保護者負担軽減の推進も重要です。



安心して
子育てができる
環境を

「高校授業料無償化」：2014年の制度改正で、片働きかつ高校生1名、中学生1名のモデル世帯で年収910万円以上の世帯は無償化から除外されました。



宗谷の教職員は、仕事にやりがいを感じながらも多忙に悩まされています。

子どもと向き合う時間や教材研究の時間を増やすために、教職員を増やすことは欠かせません。また、管内には期限付の先生が多くいます。教育に情熱を持っている期限付の方が採用され、管内教育の充実を図ることも大切な視点です。

子どもと向き合う
時間確保のため
教職員の増員を

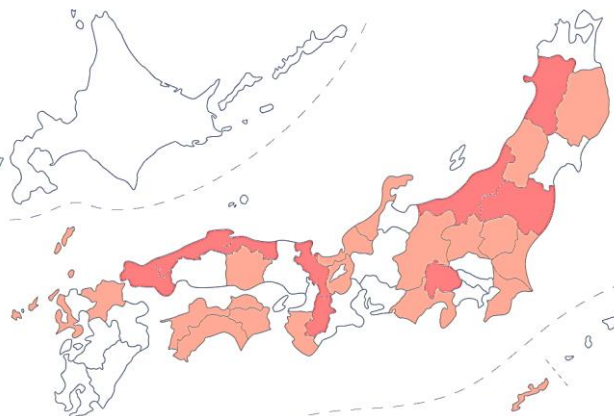
国の標準では、1学級の人数は小学校1年生で35名、小学校2年生から中学校3年生までは40名となっていて、北海道は独自に小学校2年生を35名にしています。また、稚内市では2006年から市費教諭を独自に採用しています。

全国的に見ると、独自に学級編制の基準を定めたり、少人数指導の施策をとっている府や県が数多くあります。



宗谷は小さい学校ばかりで少人数学級は関係ないのでは?

少人数学級の推進で管内の教員数は増加します。稚内の大規模校ではきめ細やかな指導ができること、管内的には優れた教員を少しでも多く確保するという視点から、少人数学級の前進は大切な願いです。



■ 小1～中3のすべてで独自基準で少人数指導を実施の府県
■ 小2～中3のうち4つの学年以上で少人数指導を実施の県

小学校から高校まで少人数学級実現を!

子どもの貧困、学力問題などマスコミでは多くの教育問題が報じられるようになりました。私たちは、こうした諸問題に向き合いより良い教育を行うための教育条件整備を進めたいと考えています。子どもたちにゆきとどいた教育を求める全国署名にご協力をお願いします。



発行：宗谷教職員組合

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
☎0162-22-2480 メール info@soya-teachers.org
2016年10月発行